

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	その他専門店 〔書籍〕（店 長）	来客数の動き	・ここ3か月は売上、来客数共に前年を上回っており、わずかながら景気は上向きにみえる。客単価もわずかながら上昇している。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・外国人の動きが活発で、新規契約が伸びている。特に外国人のニーズの強い新商品が発売されたため、活気が出てきている。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・近くにあった市役所が建て替えのために仮移転してから1年が経ち、与件的には前年と同様になったものの、全館の来客数は前年を割り、売上高も前年を超えることができていない。ミセス向けとヤング向けの婦人衣料が好調に推移するなど好材料もあるものの、全体的にはまだ景気の回復傾向にはみえない。
		スーパー（企画 担当）	競争相手の様子	・競合店の相次いでの出店が影響し、厳しい状況が続いている。特にディスカウントスーパーの新規開店の影響が強く、青果物を中心に苦戦している。来客数、買上点数共に前年を下回っている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・たばこ増税後は予測通りの売上推移となっている。たばこ購入客が減った分、ドリンクやライターなどを中心に影響を受けている。たばこも単価の安い旧3級品への移行が顕著にみられる。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・前月までは、来客は観光客がメインであったが、近ごろは地元客が多くなっている。
		通信会社（サー ビス担当）	単価の動き	・既存の携帯電話はあまり伸びが無く、平行線である。これからの市場はスマートフォンが伸びるとの予想から各社、力を入れてきている。客の反応も良く、一時的には伸びる可能性がある。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・施設利用者数が、前年同月比で10%ほど伸びている。ただ、前年の10月は新型インフルエンザの影響で、前々年同月比で2割ほど落ち込んでいた。売上は相変わらず前年同月比で減少しており、沖縄観光はまだ下がったままの状況にあるといえる。来園者は修学旅行、団体等が中心である。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・県内全体で見ても、前年比で来客数は5%以上減少している。低単価での集客が一段落したと見受けられる。
住宅販売会社 （総務・企画分 野）		来客数の動き	・住宅展示場や完成見学会への来客数にあまり変化が無く、同様に推移している。	
やや悪く なっている	衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・この数か月、1点単価、客単価とも前年並みに推移しているが、今月は前年比で10%ほど下がっている。相変わらず来客数は少ないままである。	
	観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・3か月前に比べ、稼働率が落ち始めている。前年実績を上回る状況ではあるものの、予約状況の伸びは弱くなってきている。	
	悪く なっている	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	お客様の様子	・10月は例年売上の落ちる月であるが、例年の95%にしか達していない。とにかく安いところで飲食するとの話もあり、固定客の来店頻度が落ちている。食べ飲み放題を始めた店舗は若干売上は上がってきているが、原価率が悪くなっているため、利益としては減っている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共工事は校舎新築など、また民間工事も新設住宅により前年より増加している。ただし、ウエイトの高い賃貸住宅及び分譲住宅が低調であることから、全体では前年を下回っている。
建設業（経営 者）		受注価格や販売 価格の動き	・受注金額は横ばいである。	

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・荷物の種類により増減はあるが、前年比で輸送ボリュームは伸びていない。取引先であるコンビニ、スーパーマーケット、総合スーパー、建設関連の売上を見て、厳しい状況である。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・上期に発注された公共工事の施工時期に入っており、例年レベルよりやや良い状態を維持している。リーマンショックで落ち込んだ観光客も戻ってきており、活況を感じる。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・円高により、顧客が発注に対して警戒している。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・夏場は観光分野では、インターハイという特需があったが、それ以外には特に変化は無い。
	やや悪くなっている	コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・これといった受注案件が無く、業者間の競争も激しい。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人広告利用に対する支払額が増加し、また求人企業数自体も増えている。
	変わらない			
	やや悪くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・派遣先からの受注案件が少し減少気味である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は前年同月比で16.6%増加しており、事業主都合での離職者が増加している。新規求人数が前年同月比で44.1%増加するも、県内求人には職種に偏りがあり、求人充足数997人で32.6%と、30%台で推移している。
	悪くなっている	-	-	-